

今年の漢字

KOTOSHI no KANJI

応募コメント

※応募者の記述をそのままご紹介します。

2017年「今年の漢字®」に「北」を選んだ理由

ここ数年来、北朝鮮の話題が尽きることなく報道されています。度重なるミサイルの発射、核実験の強行、米朝両トップの挑発発言等、更には軍事的行動への発展の危険性などが危惧される状況において今年の漢字を「北」と推奨いたします。

(東京都／86歳／男性)

ミサイル連発で、核弾頭の恐怖を与えた北朝鮮、解決しない北方4島。

(大阪府／79歳／男性)

言わずと知れた「北朝鮮」に揺れた一年を象徴する漢字。それに便乗してあおるアメリカの大統領と日本の首相。太平洋戦争の年に生まれた者には、戦争はこりこり！

(埼玉県／76歳／男性)

今年は北朝鮮の核開発・ミサイル発射で、日本をはじめ全世界に恐怖をあたえました。世界平和を願い選定しました。

(福岡県／64歳／男性)

北朝鮮問題の報道が日常茶飯事で北東北（日本海側）に住むものとしては北の脅威に日々、情報に耳を傾けることに心がけていた。

(秋田県／64歳／男性)

北朝鮮のミサイル発射問題、清宮幸太郎北海道日本ハム入団、キタサンブラック天皇賞春秋連覇。

(東京都／61歳／男性)

今年は北朝鮮のミサイルに、北島三郎の馬キタサンブラックの大活躍と、北の字が目立つ一年だったからです。

(愛知県／57歳／男性)

日本だけでなく世界的にも、とにかく北朝鮮にふりまわされた1年であった。相次ぐロケット発射、核実験、米朝対話など、北朝鮮問題がニュースの話題にならないことはなく、日本の総選挙においても、北朝鮮への対応が潜在的なテーマとなっていたため。

(東京都／52歳／男性)

北朝鮮の脅威や九州北部豪雨、北斎が人気、キタサンブラックが今年で引退、など。

(東京都／51歳／女性)

北朝鮮が北海道・襟裳岬の東などにミサイルを打ち、Jアラートが発せられるようになった。金正男が暗殺された。

(長野県／49歳／男性)

北朝鮮のミサイル発射実験で、地下鉄が止まったり、Jアラートが鳴るなど様々な事に影響を与えた。北朝鮮拉致被害者家族がトランプ大統領と面会できた。

(神奈川県／45歳／男性)

北朝鮮のミサイルが日本上空を軽々と越え、太平洋へ落下してしまった。本当にこの先々戦争になる世界に...という現実味、しみじみ考えさせられました。

(宮城県／44歳／女性)

国内では「北」海道のじゃがいも不作の影響でポテトチップスが店頭から消えて、ネット上で高価格販売されるという異常事態（ポテチショック）が起き、海外では「北」朝鮮の金正男氏が暗殺されるという事件や、「北」朝鮮の度重なるミサイル発射の影響で日本国内に不安が広がり続けているという事象が起きているため。

(山口県／40歳／女性)

常に北朝鮮のミサイルにおびえた一年でした。戦争経験のない私たち世代は、まさかと思いつつも現実にはミサイルが落ちてきたら...その想像もつかず混乱し恐怖でした。

(福島県／38歳／女性)

北朝鮮によるミサイル問題、九州北部豪雨など。

(青森県／36歳／女性)

北朝鮮について多くのニュースが流れていた。北海道日ハムでは大谷のメジャー挑戦、清宮の獲得が日本を賑わせた。

(埼玉県／34歳／男性)

北朝鮮のミサイルによる度重なる挑発行為に不安を感じた年だったため。拉致問題の早期解決にも願いを込めて。

(新潟県／33歳／女性)

北朝鮮の勢い、Jアラート、世界のなかの日本の立ち位置を認識しました。

(佐賀県／30歳／女性)

北朝鮮のミサイルが何度も飛ばされ、拉致問題も横田めぐみさんが拉致されてから40年経った為。

(千葉県／29歳／女性)

北朝鮮の核問題など、日本はどう対応するべきか市民も考えさせられる場面が多かったので。

(京都府／29歳／女性)

北朝鮮問題のニュースを目にしない日がなかったくらい北朝鮮とのいざこざが目立った年だったので。

(大阪府／26歳／男性)

今年一年北朝鮮のニュースがとても多いと感じたので、「北」を選定しました。世界中が平和であってほしいと願います。

(愛知県／22歳／女性)

北朝鮮の脅威、北九州を襲った集中豪雨、WBC日本代表が準決勝で敗北。

(東京都／21歳／男性)

北朝鮮の問題が盛んに取り上げられたから。北には逃げるという意味もあり、政府が説明責任を果たさないまま逃げるという場面が目立ったから。

(山梨県／19歳／女性)

2017年は北朝鮮がミサイル発射、核実験を実施し過去と比べて顕著に日本国内に大きな影響を与え、日常が脅かされるという危機感を私達に強く感じさせた。そのことにより新聞や、ネットニュースにおいて「北」という漢字を頻繁に目にしたから。

(埼玉県／19歳／男性)

北朝鮮のミサイルが常に日本を騒がせていた。キャンプ中の早朝にJアラートが鳴って目覚めたことも忘れられない。

(北海道／19歳／男性)

北朝鮮の問題や北海道の日本ハムファイターズと清宮選手がけいやくしたから。

(長崎県／12歳／男性)

2位「政」を選んだ理由

森友・加計学園問題、議員の不祥事など「政」治家の問題が相次いだ。また、衆議院解散総選挙による第4次安倍内閣の発足や新党設立、トランプ米大統領の来日など、国内外を問わず「政」治に大きな動きがあり、人々の関心が高まった。

政治に絡む問題が多発した年だったから。忖度、議員の暴言、北朝鮮問題等、内外を問わず政治関係の話題が多かった年だったから。

(東京都／64歳／女性)

政治家の不祥事が暴露され続け、解散総選挙によりその審判が下されるのかと思った人も多かった。政治と金の不正、疑惑に振り回された1年だったから。政治に期待することを諦めたり、周囲の独裁国や驚くようなパフォーマンスをする海外の政治家の影響を強く受けた年だった。

(北海道／52歳／女性)

政治の世界では小池都知事が希望の党を立ち上げ、選挙戦は大波乱。結果は自民党が圧勝。今年の政治は世間を混乱させたと思います。

(福島県／52歳／女性)

都議選、衆議院選、北朝鮮問題、慰安婦問題、加計学園問題、議員の暴言・不倫問題など政治にまつわる話題に終始した1年であった印象です。

(東京都／49歳／男性)

政治が大きく揺れた年ではなかったかと感じます。国政、都政、色んな問題があちこちから出て、政治が関係することが多かったので選びました！！

(富山県／39歳／女性)

政治家の不祥事多々あり。また、衆議院選での自民党圧勝や希望の党・立憲民主党設立等、「政」が良い意味でも悪い意味でも何かと世間を騒がせたから。

(宮城県／38歳／男性)

今年の1年は、政治家に関するニュースが多かったように思います。森友学園と安倍首相、夫人の関わり。政治家の浮気数件。豊田議員の事件など。政治よりもお祭り騒ぎの様になっていたことが気になったので、「政（まつりごと）」とかけて、この1文字にしました。

(沖縄県／31歳／女性)

日本では衆議院の解散、都民ファーストの会の結党。海外ではトランプ大統領の就任と来日、朴政権の終焉と文政権の発足など様々な出来事があり日本の政治にも大きな影響を与えました。2017年は全体的に政治に関する出来事が多かったので「政」を選びました。

(埼玉県／29歳／女性)

不祥事が相次いだ日本の政治。政権を争って混乱をきわめた印象があったから。また日本だけではなく、アメリカや北朝鮮との政治外交も大きく動いた1年だったから。

(北海道／29歳／女性)

政治。アメリカのトランプ大統領の就任や小池都知事の都民ファーストの会、議員の不倫や暴行のス

キャンダルなど政治の在り方を考えさせられる一年だったからです。

(佐賀県／27歳／男性)

トランプ大統領や北朝鮮問題などの国際問題はもちろんのこと、森友・加計学園問題や議員の不祥事、景気回復など、政治についての関心が良い意味でも悪い意味でも高まったから。

(栃木県／16歳／男性)

森友学園や加計学園の問題が起きたため、「政」にしました。この際、日本の政治について私たちは考えるべきだと思うからです。それと第四次安倍内閣に変わったからでもあります。

(東京都／13歳／男性)

3位「不」を選んだ理由

北朝鮮の核・ミサイル問題による「不」穏な国際情勢や、森友・加計学園などの「不」透明な問題に対して、「不」安を抱いた。芸能界や政界での「不」倫、データ改ざんや無資格検査など企業の「不」正が相次いだ。また、天候「不」順による農作物の「不」作や魚の「不」漁が国民の食卓に打撃を与えた。

海外では、北朝鮮の核実験に弾道ミサイル発射と国際情勢が不安定な中で、国内は政治が安定せず国民の関心は薄くなるばかり、企業は売上や利益を優先し不正だらけと不安になるばかりです。

(大阪府／58歳／男性)

北朝鮮情勢に伴う不安や著名人の度重なる不倫騒動、不動産価格の高騰、天候不順による農作物の不作や魚の不漁など、不のつく出来事や状況が続く年だったから。

(岐阜県／43歳／男性)

トランプ大統領の発言、北朝鮮のミサイル発射・核実験など、世界が不安定化。芸能人や政治家の不倫相次ぐ。神戸製鋼や日産など、企業の不正や不祥事も相次ぐ。座間の9人殺害など不気味な事件発生。夏から秋にかけて、天候不順の年でもあった。

(山梨県／41歳／男性)

芸能界や政界で次々に出てきた「不倫」問題。北朝鮮のミサイル発射問題で、国際情勢への「不安」。日産自動車を皮切りに、未検査やデータ改ざん等の「不正」から、企業への「不信」。色々な「不」が今年は目につきました。

(愛知県／34歳／女性)

不倫、天候不順、日照不足、不正(森友、加計、神戸製鋼など)、説明不足(国会の答弁)、座間9人殺人事件の行方不明、不安(北朝鮮のミサイル)、希望の党不本意な結果、不漁(黒潮の大蛇行による)。

(東京都／15歳／男性)

4位「核」を選んだ理由

北朝鮮による「核」実験や弾道ミサイルの発射により、「核」ミサイルへの脅威が高まった。一方で、ICAN(「核」兵器廃絶国際キャンペーン)がノーベル平和賞を受賞。7月の国連総会では「核」兵器禁止条約が採択され、「核」廃絶へ向けた動きに注目が集まった。また、「核」心が曖昧なままの政治問題は国民の不信を招いた。

今年1年を通じ日本は北朝鮮の核ミサイルの脅威にさらされてきた。7月7日には国連加盟国の122か国が賛成し核兵器禁止条約が採択された。また核廃絶を訴える国際NGOのICANがノーベル平和賞を受賞した。

(茨城県／64歳／女性)

北の核兵器製造に振り回されたり、Jアラートに驚かされたり、国会では総理の疑惑問題の核心にたどり着けず、ノーベル平和賞では「ICAN」が受賞…。やはり、本物の核については今年が一番話題として挙げられたかな、と思います。

(愛知県／44歳／女性)

北朝鮮の核実験・ミサイルの脅威にさらされたこと。政治では森友学園・加計学園の問題の核心があいまいなところに対する政治不信。

(兵庫県／38歳／女性)

ノーベル平和賞にICANが選ばれ、核兵器禁止条約がやっと制定されたこと、そこに至るまでの活動、また、日本の広島・長崎の被爆体験や被爆者らの存在が世界的に認知された記念すべき出来事があったから。残念な点では北朝鮮の核開発で世界が揺さぶられる一年でもあったこと。

(長崎県／35歳／女性)

北朝鮮の核問題や、国際NGO「ICAN＝核兵器廃絶国際キャンペーン」がノーベル平和賞を受賞したことなど、核にまつわる話題が多い年だったからです。

(大阪府／12歳／男性)

5位「新」を選んだ理由

米「新」大統領にトランプ氏が就任。上野動物園のパンダに「新」しい命が誕生。元SMAPの3名がファンサイト「新」しい地図を開設。衆議院解散により、「新」党が結成。将棋の藤井聡太四段が公式戦29連勝、陸上男子100mで桐生祥秀選手が日本人初の9秒台など、「新」世代の活躍にも注目が集まった。

将棋の藤井棋士、最年少で29連勝の新記録。陸上の桐生選手、100m10秒を切る9秒98の日本新記録。など歴史を変える新記録で人々に感動を与えた。その「新」。

(千葉県／73歳／男性)

新たな段階に入った北朝鮮の脅威や、衆議院が解散し新党が立ち上がる中、自民党が圧勝も気持ち新たに始動宣言。いい話題としては、上野動物園で生まれた新たな命、パンダのシャンシャン。スマップが解散したがメンバーの3人がファンサイトを開設。サイト名は新しい地図となった。

(京都府／48歳／女性)

アメリカトランプ新大統領誕生。最年少プロ棋士の藤井四段、29連勝の新記録。陸上の桐生選手100m10秒を切る9秒98の日本新記録。政治で希望の党、立憲民主党など新党結成。高校野球で早稲田実業の清宮選手、高校通算最多本塁打数の新記録、広陵高校の中村選手、夏の甲子園で史上最多6本塁打の新記録。その新記録の「新」。

(千葉県／44歳／女性)

浅田真央さんや日馬富士など第一線で活躍されていた方の引退、アイドルが事務所退所、など、新たな道へ進む方々へのエールの意味と、白鵬の新記録、新横綱稀勢の里誕生など、新しい時代の幕開け、そして上野動物園のパンダ誕生など新たな命の誕生もあり、選びました。

(北海道／37歳／女性)

新たな赤ちゃんパンダの誕生、陸上で日本人初の9秒台新記録、元SMAPの3人のSNS開設や、藤井聡太四段が最年少連勝記録を更新するなど、今年は新たなことが多くあったのでこの漢字を選びました。

(兵庫県／20歳／女性)

6位「選」を選んだ理由

衆議院議員総「選」挙、都議会議員「選」挙など「選」挙に関する話題が続いた。プロ野球のドラフト

会議にて、早稲田実業高校の清宮幸太郎「選」手を7球団が1位指名。昨年の電力自由化に続いて、都市ガスの自由化も始まり、個人の「選」択の幅が広がった。

選挙の年で、日本の将来を選択する年であった。

(宮崎県／69歳／男性)

総選挙がありました。国民は皆選ぶということがどれ程大切なのか改めて考えさせられた年だったのではないのでしょうか。

(和歌山県／43歳／女性)

自民党の圧勝、民進党分裂、排除発言、沢山の有権者達が悩み、私自身も貴重な一票で選びました。この選択が国の未来を作っていくんだということも深く感じました。

(埼玉県／30歳／女性)

大きな選挙があったというのが大きな理由。また電力自由化(昨年からであるが)が進んだり、ガス自由化も進み、国民の選択が多様に広がった1年だと感じたため。

(大阪府／28歳／女性)

今年は衆議院議員の選挙では、北朝鮮の問題や、議員の不祥事があつたりと、より一層真剣に選出する必要があつた。注目の清宮選手のドラフト選択もあつたり、アメリカや韓国の大統領選挙の影響も気になった年で「選ぶ」ということに関心が集まったと感じたから。

(和歌山県／18歳／男性)

7位「乱」を選んだ理由

森友・加計学園問題により政治が「乱」れ、衆議院選では新党が「乱」立。国際情勢では北朝鮮の核・ミサイル問題により世界が混迷し、芸能界では不倫問題や、角界では暴行問題など、混「乱」を招く出来事が多かった。

小池の乱、民進党の内乱などから新党の乱立。政治の混乱を招く。相撲界も秩序の乱れから執行部の混乱へと発展。何かと乱れた年だった。

(神奈川県／69歳／男性)

もりかけ問題で政治が乱れる、不倫や暴言で議員が乱れる、北朝鮮はミサイル乱発、暴力や横綱の品格で相撲協会が乱れる、等の理由から。

(茨城県／54歳／男性)

国内では森友問題や衆議院選挙での野党の混乱、海外では米国トランプ大統領の就任後の動きや北朝鮮問題といった混乱、また不倫が話題になる「乱」れた一年でした。

(大阪府／49歳／男性)

混乱の「乱」。政治や気象、最近では大相撲等、乱れる場面が多くみられた。また、風紀の乱れ(芸能界、政界の不倫騒動等)も多かった。

(愛知県／37歳／女性)

森友、加計学園問題、豊洲問題、北朝鮮問題などの政治的、国際的混乱。また、東名高速での事故や座間9人殺人事件、政治家の不倫疑惑など倫理の乱れが多く見られる一年であったことから。

(埼玉県／29歳／女性)

8位「変」を選んだ理由

トランプ米大統領の就任、北朝鮮の核・ミサイル問題などにより、国際情勢が「変」化。また、国内で

は、働き方改革やIoT・AIの活用により人々の働き方に「変」革が起こるなど、世の中が「変」わると感じた年。

急な解散総選挙、テレビ時代からネット時代へと変化が進んだ年。2020年のオリンピックを目指すアスリート陣は徐々に若手へと変わって世代交代しています。平和が続くと思われてきたのに、ミサイルがいつ飛んでくるかわからないという変な年でもありました。

(東京都／52歳／女性)

議員の暴言や北朝鮮のロケット発射、最近では日馬富士が引退した事とそんな揺れる話題の中、経済は確実に成長を続けており今までになく変わった出来事の多い年だった。

(大阪府／42歳／男性)

例年以上に世の中が変わっていく印象を受けた一年でした。自動車のEVシフトへの動き、フィンテックやIoT・AI活用、Eコマースの高成長など世の中はどんどん変化しているのだと感じた一年でした。

(東京都／38歳／男性)

トランプ大統領就任という変化、それに伴い米国の対他国戦略の変化、日本は株価に変化（上昇）、政権の施策に変化の狼煙（子育て支援、働き方改革）、企業の働き方に変化（改革）。

(東京都／38歳／男性)

変動の変。トランプ大統領がアメリカ政権を握り、国際社会を変動させたこと。また、北朝鮮の脅威も大きく変動したこと。

(千葉県／25歳／女性)

将棋界（藤井聡太四段）の新たな記録や相撲界（稀勢の里）が世間を驚かしたし、政治では衆議院解散で、総選挙も行われるなど、多くの出来事が世の中を動かした（変えた）から。

(福岡県／16歳／女性)

9位「倫」を選んだ理由

芸能界や政界での不「倫」騒動、企業の過労死や品質管理問題、相撲界での暴行事件、森友・加計学園問題、高速道路のあおり運転など「倫」理感が問われる出来事が多く起こった。

芸能界や政界等において有名人の不倫が話題になる一方で、産業界においては無資格検査や強度改ざんなど企業倫理が問われる不正問題が頻発した。政治家や力士(横綱)の倫理や品格も問われた1年だった。

(東京都／60歳／男性)

東芝の損失・てるみ倶楽部の破たん・働き方改革など企業の倫理が問われ、森友・加計学園問題・日本の政治家やトランプの失言など政治の倫理が問われ、どうでもいい不倫に世の中が噛みつくなど、一人一人の生き方の倫理を問われる年でした。

(東京都／47歳／女性)

社会の最小単位である「家庭、夫婦」の不貞から、一国のトップ同士のツイッターでの挑発合戦。高速道路で執拗なあおり運転をした挙句、人を殺してしまった凶悪事件。夫婦間から国を飛び越えた悪口の応酬など大小さまざまな「倫理感」がさ〜〜ッと波のように引いて消失しつつあり、そんな時代の始まりのような年だった。

(山形県／34歳／男性)

今年は政治家の倫理が問われた一年でした。不倫騒動もちろんですが、議員の人種差別・女性差別発言や、首相夫妻の森友・加計問題など、倫理的にいかがわしい問題が多く見られました。年内に、一刻も早い問題解決を望みます。

(東京都／24歳／女性)

10位「暴」を選んだ理由

議員の「暴」言や角界などでの「暴」行事件が世間を騒がせた年。大企業の不正や森友・加計学園問題が「暴」かれたことにより、国を揺るがす事件となった。

暴走する車（高齢者の運転、あおり運転）。暴虐非道な世界各地でのテロ。北朝鮮のミサイル暴挙。暴風雨の甚大な被害。角界や人間関係での暴力やいじめ等、嫌な漢字ですがこの字に慣れてマヒすること無い様に。2018年は良い漢字で表せたらと思います。

（千葉県／64歳／女性）

日馬富士の暴行や、豊田議員の秘書への暴行、ラスベガスでの乱射事件など暴力にまつわる事件が印象的な年だった。トランプ大統領は暴走し、暴言多発。日本の議員の暴言もひどかった。北朝鮮も暴走して、ミサイル発射等繰り返した。自然では、大型台風が何度も暴威をふるった。あばくの意味の『暴』では、森友学園問題や大企業のデータ改ざん問題など、国を揺るがす事件が暴かれた。

（大阪府／56歳／男性）

「このハゲーー！」といった暴言や相撲界の暴力等が目立った1年。暴風雨を伴う台風が次々と日本列島を襲ったのも特徴的。

（東京都／48歳／男性）

相撲取りの暴行事件、自動車の暴走事故、政治家による秘書への暴言、高速道路での乱暴な運転から起こった事件、日産の内部告発による暴露から判明した不正、東芝の株価暴落、北朝鮮の暴走、などなど、犯罪も経済も政治も色々と暴れる年だったから。

（静岡県／32歳／女性）

